

松本市市民活動

サポートセンター通信

NO.10

発行元：松本市市民活動サポートセンター
 〒390-0874 松本市大手 3-8-13
 松本市役所大手事務所 2階
 TEL/FAX：0263-88-2988
 E-mail：support-center@support-center.jp
 URL：http://www.support-center.jp

サポセン新企画「しみんサロン」始まる！

当センターでは、7月から新たに「しみんサロン」を開催することになりました。

皆さん！松本のこれからについて語り合いませんか？

地域の身近な課題から社会問題まで、毎回テーマを設定し、専門家を交えながら、自由討論します。審議会でもない、パネルディスカッションでもない、市民が気楽に議論の輪に加わることができる、オープンな語りの場を設けたいと思います。face to faceのコミュニケーションと、実名による対話を大切にします。

「しみんサロン」のもう一つの狙いは、市民活動を“限定された市民のもの”というイメージからもっと社会に開かれたものにするため、企業関係者等にも議論に加わっていただくことです。共催の市民団体の皆さんからは、テーマ毎に広く市民にメッセージを投げかけていただきます。

<第1回> 7月27日(金)午後7時～午後9時

初回を飾るテーマは「**子どもの居場所**」

子どもの心身共に健康な成長を願う親の会との共催で、教育問題を取り上げます。

<第2回> アクティブシニア（9月開催予定）

団塊世代の大量退職を前に、定年後の地域参加について考えます。

<第3回> 松本ブランド（11月開催予定）

豊かな地域資源を活かしたまちづくり、地域の活性化の具体策を探ります。

松本のこれからについて、ご意見のある方ならどなたも自由に参加できます。

おいしいお茶をご用意してお待ちしております。

**子ども・子育て支援展示コーナーを設置**

子ども・子育てキャンペーン期間中（6月29日～8月17日）子育て支援団体の展示コーナーを当センターフリースペースに設置しています。団体の活動紹介や、イベントの写真など展示してありますので、ぜひお立ち寄りください。

☆市民活動団体の分野別交流会☆

昨年の重点目標「親睦と交流」からステップアップを図るため、今年度はワークショップ（次ページ豆知識⑧参照）を取り入れ開催しています。昨年に引き続き2回目の開催となる多くの分野では、今年度の目標を、前回より今一步進めた「ネットワークづくり」とし、更に課題を共有するため、テーマを設定した意見交換に重点を置いています。

障がい者福祉団体交流会

5月29日に「障がい者福祉団体交流会～障がい者が輝いて生きるために～」が開催され、12団体17名と市障害・生活支援課、社協ボランティアセンターの参加がありました。

事前に参加者に募集して寄せられた課題“ボランティア不足”“人材発掘”“連携と交流”などについて2つのグループに分かれディスカッションを行ないました。一つのグループでは“障害者への理解”について意見交換がされ、「啓発活動など連携していくことがとても重要だ」などの意見が出されました。

一方、“ボランティア不足”については、仲介を求める要望がありました。ボランティアセンターとも協力して個人

ボランティアと団体を結びつけるパーティーを開催するなど支援をしていきたいと思っています。

子育て支援団体交流会

6月29日の「子育て支援団体交流会～みんなで育てる子どもの輝き～」は、市子育て支援課とボランティアセンターとの共催で、21団体24名の参加がありました。

ワークショップでは、4グループに分かれて子育ての“現状と課題”さらに“必要な支援”について意見交換をしました。時間不足で必要な支援にまで議論を進められませんでした。各グループの発表からは、子ども同士、親同士、団体間の繋がりや行政との連携など“つながり”が共通のキーワードとしてあがりました。様々なシーンでつながりを築いていくことが求められています。

この交流会をきっかけに、子育て支援課では、7月から子育て支援ネットワークづくり事業を開催します。



このコーナーでは当センターに団体登録のある、様々な活動団体をご紹介します！！

今回は子育て支援月間に合わせ、**子育て支援団体の特集**しました。

お話を伺ったのは「子どもが輝く食育ネットワーク・松本」「新・親子のつどい」両団体です。



子どもが輝く食育ネットワーク・松本

学校給食の現場で働く栄養士さんから相談を受け、「子ども達が置かれている食の現状を知った」ことから始まった「子どもが輝く食育ネットワーク・松本」。代表の伊藤麻理さんはじめメンバーの想いは、団体名に使われている言葉一つ一つに表れている。「食というものは、文化、環境、地域などの繋がり、更に生産者、流通業者など様々な繋がりの中に存在するもの。だから、全てが繋がる大きな視点が必要」、そこから“ネットワーク”という言葉を取り込んだ。その言葉には、「全ての人が、食を考えられる環境づくりをしたい」という想いが込められている。

そして、地産地消と言われているように、地域で作られてきた作物を受け継いでいくこと。「地域の名品を残していくことで、それが将来の子どもたちの財産になる」との想いから「松本」という地名も織り込んだ。市の名産である松本一本ネギと小麦の栽培体験は、畑からの収穫、調理までを実践する。作物が採れる現場から、食卓にのぼるまでの流れを実際に見ることで「かつては生活の中で自然と感ずることが出来た“食のありがたみ”を実感して欲しい」と伊藤さんは話す。自給自足とは遠い現在、今はそれを大人が子どもに伝えていかなければならない。「子どもの



当センターで行われた講演会のようす

食環境を目指し、講演会、勉強会など多岐に渡る活動を続けている。「ストイックになりすぎなくてもいいと思うの。加工食品に頼ってしまう日があっても、出汁は取る、生野菜を添えるなど、ほんの少しのこだわりが持てるのが大切」で、それは日々の暮らしの中で食について考えることが出来ることにつながると言う。

今後の活動について、「今やっていることを細く長く続けられれば」と伊藤さんは笑うが、料理教室の講師依頼など、“ネットワーク”は次々と広がりを見せているようだ。「みんなが食を大事だと思えるようになること」と、という伊藤さんの願いは、着実に前進している。

◆ イベントのお知らせ ◆

「ネギの植えかえ体験」

- ◇ 日時：7月28日(土) 8時～10時
- ◇ 場所：両島公民館集合
- ◇ 持ち物：帽子、軍手、長靴、水筒
- ◇ 申込：なんなん広場(TEL 26-1083)
- ◇ 問合せ：子どもが輝く食育ネットワーク・松本
TEL：58-9664 (伊藤・夜のみ)

新・親子のつどい

安原地区公民館にて、未就園児を対象とした講座などを開催する「新・親子のつどい」。会は、安原地区の主任児童委員を務めていた松田昌子さんが続けてきた「親子のつどい」が終了するにあたり、それを惜しむ声を受けて新たに実行委員会が引き継ぐ形で始まった。委員会は代表の降幡優子さんをはじめ、乳幼児を持つお母さん達のボランティアにより運営されている。活動は、人形劇や、ミニコンサートの観賞など親子で一緒に楽しめるものから、歯科医による歯科講座や子どもの靴選びのアドバイスなど実用的なものまで幅広い。ベビーマッサージなど乳児を対象とした企画もあり「家に閉じこもりがちな、“はいはい”前の赤ちゃんとお母さんが外出するきっかけになれば」と、交流の場としての役割も忘れない。「講師依頼などを通して、人との出会いやつながりが出来るのも楽しみ」と、降幡さんは実行委員としてのやりがいを語る。会は、毎回市内外を問わず約30～40組の親子が参加。事前申込みは不要なため、気軽に足を運べる感覚



人形劇鑑賞のようす

だ。特に好評なのが、安原地区のボランティアさんによる手作りのおやつ。「かぼちゃとチーズのカップケーキ」や、「豆腐とごま入りドーナツ」など一工夫された楽しいメニューが並ぶ。ここでも、ボランティアの栄養士さんが献立作りに活躍している。「お母さん達が家でも挑戦しやすい様に、毎回レシピも配布しています」と細やかな気遣いも、参加者に喜ばれている。企画、運営、調理と様々なボランティアが携わる中には、かつて「親子のつどい」に参加していた方も含まれている。

世代を超えて愛される“つどい”の歴史の中に、子ども達を育む、暖かい地域の“つながり”が受け継がれているのを感じた。

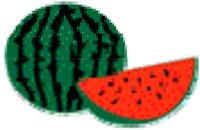
◆ イベントのお知らせ ◆

「第28回 新・親子のつどい」

- ◇ 日時：9月3日(月) 10時～12時
- ◇ 場所：安原地区公民館 和室、大会議室
- ◇ 内容：①ベビーマッサージ ②麦わら細工
③保健師さんのワンポイントアドバイス
④手づくりおやつ
- ◇ 持ち物：飲み物、お手ふき、敷きもの
- ◇ 参加費：ひと家族100円(事前申込は不要)
- ◇ 問合せ：新・親子のつどい
TEL：33-8605 (松田)



松本市ボランティアセンターよりご案内



「夏にトライ！」

～夏休み小中学生福祉体験～

- ・ 参加は1回だけでもOK!
- ・ 低学年は保護者同伴で!
- ・ お申込はお早めに!

夏休み中の小学生・中学生を対象に、下記の内容で福祉体験を行います。ご参加をお待ちしています!

「電気の出来るまで」

- ◇ 日時：8月4日(土)
9時半～14時半
- ◇ 内容：ダムを見学して、電気のことをいろいろ知ってみよう
- ◇ 行き先：東電梓川テプコ館
- ◇ 参加費：200円
- ◇ 定員：25人(昼食持参)

「災害のための講座」

- ◇ 日時：7月30日(月)
9時半～12時半
- ◇ 内容：図上訓練による災害時対応法
非常時の非常食作り
- ◇ 場所：城東公民館
- ◇ 参加費：200円
- ◇ 定員：30人

「素朴な懐かしいお菓子を作ろう」

- ◇ 日時：8月1日(水)
9時半～12時半
- ◇ 内容：おやき作り
そうめん作り
聴覚障がい者との交流
- ◇ 場所：城東公民館
- ◇ 参加費：200円
- ◇ 定員：30人



<問合せ・申込> 松本市社会福祉協議会内 松本市ボランティアセンター TEL: 25-7311

“まめ”知識⑧ ～基礎から学んで賢く活用～



Q. “ワークショップ”って何かのお店のこと・・・??

<参考文献> 「ワークショップ ―新しい学びと創造の場―」 中野民夫

A.最近よく耳にする“ワークショップ”という言葉。研修会や勉強会など様々な場で使われる場面が増えているようです。その言葉の印象から、「何かのお店のこと?」と思ってしまう方もいらっしゃるかも知れません。

ワークショップとは・・・「参加者が自ら参加・体験して、共同で何かを学びあったり創り出したりする学びと創造のスタイル」です。「参加体験型グループ学習」と訳されることもあります。

一例として・・・

全体で考えるための情報をまず共有する

それを元に、少人数のグループで話し合い
提案やアイデアを作り上げる

各々のグループの成果を全体に発表する

客観的な視点から提案内容を評価検討することで、より深い成果を導く

☆ワークショップのポイント☆

【参加】

先生や講師の話を一方向的に聞くのではなく、自ら関わっていくこと

【体験】

頭だけではなく身体と心をまるごと総動員して感じていくこと

【グループ】

お互いの相互作用や多様性の中で分かち合い刺激し合い学んでいくこと

ワークショップを行なうことによって、「様々な意見を表出・集約することが出来る」「参加者間で同じ体験を共有出来る」「お互いに刺激しあったり、影響しあったりすることが出来る」などの効用が生まれます。

(☆ちなみに、ワークショップ(workshop)という英語の本来の意味は「作業場、仕事場」。ですから、「何かのお店のこと?」というのも、あながち見当外れではないのかも知れません)

information

講座・イベント情報（※お申込・お問合せは、各主催団体に直接お尋ねください。）

子どもが輝く食育ネットワーク・松本 夏休み企画

Part I 長野県農業試験場見学&柄木田製粉工場見学

- ◇ 日時：8月6日（日）9時～15時半
- ◇ 参加費：500円
- ◇ 定員：先着20名

Part II 親子夏休みクッキング

「野菜を食べてパワーアップ!!暑さなんてへっちゃら!!」

- ◇ 日時：8月18日（土）10時～12時
- ◇ 場所：なんなん広場
- ◇ 参加費：500円
- ◇ 定員：先着15名

（Part I、Part II 共に）

- ◇ 申込：なんなん広場 26-1083
- ◇ 問合せ：伊藤（夜のみ）58-9664

夏休みふれあい講座 ぼくらのまちの体温測定!

『温暖化』って言葉、最近よくききますね。本当に街は熱いのか、どのくらい熱いのか。どんな所が涼しくて、どんな所が暑いのか。いろいろなものの温度を一緒に調べてみませんか？

- ◇ 日時：8月1日（水）10時半～12時半
- ◇ 場所：松本市中央公民館4階4-4集合
- ◇ 持ち物：水筒、帽子、タオル、筆記用具
- ◇ 参加費：無料
- ◇ 主催：長野県環境保全研究所
「環境の世紀」をめざして・まつもと発21
松本市中央公民館
- ◇ 申込：松本市中央公民館 32-1132（高橋）

当センター登録団体主催 市制100周年市民提案イベント ～ブルーステージ～



松本ウォークラリー ～W.ウェストンの道を通る～

- ◇ 日時：9月1日
- ◇ 会場：松本市錦部小学校から松本市立安曇小学校
- ◇ 問合せ：松本青年会議所
TEL：32-7646

ネイチャア フィーリング in 上高地

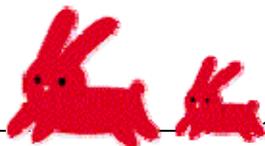
- ◇ 日時：8月～9月
- ◇ 会場：上高地
- ◇ 問合せ：信州まつもと山岳ガイド協会・やまたみ
TEL：34-1543

募集コーナー

「新・親子のつどい」実行委員会スタッフ募集!

「新・親子のつどい」では、一緒に活動してくれるママスタッフを募集しています。打ち合わせに参加して下さる方はもちろん、「当日の受付だけなら」「毎回は無理だけど」という方も大歓迎です!少しでも興味を持たれた方はお気軽に、ご連絡ください。『新・親子のつどい』がこれからも多くの皆様に楽しく来ていただけるもの出来る様、あなたの力をぜひ貸してください。よろしくお願いします!

- ◇ 問合せ：降幡 080-1103-8554
嶋田 090-9359-7255



「てくてく」ボランティア募集!

NPO法人てくてくでは、松本市元町にある「カフェギャラリーてくてく」のボランティア、また松本市役所での障がい者展示販売コーナー「ふれあいマーケット」のボランティアを募集しています。少しでも興味を持たれた方は下記までお気軽にお問合せください!よろしくお祈いします。

- ◇ 問合せ：桑原
E-mail：spnn2299@gamma.ocn.ne.jp
TEL&FAX：34-0611



サポートセンターからのお知らせ

◇ 「募集コーナー」を新設しました! ◇

今号からサポートセンター通信に「募集コーナー」を新設しました。「団体スタッフを募集したい」「ボランティアをしてくれる人を探している」など、もし掲載を希望される情報がありましたら、気軽にご連絡ください。

当通信は隔月で、奇数月の15日に発行しています。登録団体に郵送させていただき、中央図書館・市内福祉ひろばなどで配布させていただいております。

◇ 編集後記 ◇

おかげさまで、サポートセンター通信も無事10号を迎えることができました。今後、益々みなさまのお役に立てるような情報誌を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「こんな情報が欲しい」等のご意見がございましたら気軽に寄せてください。お待ちしております。